

## 「重点化する取り組み」に係る委員意見一覧

No.	部門	委員によるご意見	
1	「重点化すべき取り組み」について	(富岡委員) 今後のまちづくりを進める上で、「市民参加」の考え方は欠かせない。今後、市民のまちづくりへの参加を促進できる仕組みづくりが重要になってくる。	追加意見
2	「重点化すべき取り組み」について	(三輪信哉委員) 今後、自治体の財政が縮減していく中で、暗いまちではなく、活気あるまちにしていくには、市民力を向上させることが重要で、重点的な取り組みとしては不可欠である。その中で、行政は先進事例などの情報を集積している組織として、市民をリード、又は後押しする役目を果たす必要がある。	追加意見
3	「重点化すべき取り組み」について	(後閑委員) 全ての取り組みにおいて、住民参加が必要だと思う。地域力を高めていくために力を発揮してもらい、多様な担い手がパートナーとしてまちづくりを進めていく必要がある。	追加意見
4	「重点化すべき取り組み」について	(加藤委員) 今後、少子高齢化・人口減少に伴う税収減などにより厳しい財政状況が予測されることから、新たな総合計画では、市民等との協働のつながりを各部門に散りばめていくことが必要だと考える。 また、重点化という部分では、委員からも多くの意見が示されている世代間交流がキーワードになってくるのではないかと考える。	追加意見
5	「重点化すべき取り組み」について	(嶋田委員) 地域住民のまちづくりへの参加がますます重要になってくると思う。特に、若年層の参加が大切で、そのためには、中学生で言えば塾やクラブと同様に、地域貢献活動を行った対価が必要になると思う。また、地域のつながりを深めていくことも重要で、世代間交流の場をつくれるよう、地域の祭りなどその仕組みを行政と地域コミュニティなどが連携して進める必要があると思う。	追加意見
6	「重点化すべき取り組み」について	(角野委員) 「世代間交流」は理想的ではあるが、市民一人ひとりがばらばらのままで世代を縦につなごうとしても厳しい。まずは、横のつながり、つまり同世代のつながりを強くする。横のつながりは日常的に機会がないと継続しないが、それができて初めて各世代を縦につなぐことができる。それが世代間交流の第一歩になると考えるが、縦につなぐ機会づくりは行政の役割ではないか。手法の一例としては、地域のまつりなどが考えられる。そういった取り組みの下支えを行政ができればよいのではないかと考える。	追加意見

No.	部門	委員によるご意見	
7	「重点化すべき取り組み」について	<p>(角野委員)</p> <p>今後のまちづくりには「市民参加」が欠かせないと思うが、そのためには、市民の能力を引き出し、まちづくりのステージに引っ張り上げることが必要である。ターゲットは、時間と能力を持っている高齢者。高齢者の社会参加が進めば、世代間交流にもつながるのではないかと。</p> <p>また、高齢者など市民の能力を引き出し発揮する機会づくりも必要である。それに関する部門としては、大学連携、生涯学習、観光・交流などの部門があげられる。</p>	追加意見
8	「重点化すべき取り組み」について	<p>(三輪敦子委員)</p> <p>重点化すべき取り組みとしては、市民のまちづくりへの参加や子育て、健康分野などになってくると思うが、市民参加を進めていくためにはその拠点が重要で、特に今後、小学校の校舎の活用は市民の結節点として有効だと思う。市民参加の場として、また、健康づくりや子育て支援などの場に活用していくべきだと思う。</p>	追加意見
9	「重点化すべき取り組み」について	<p>(小原委員)</p> <p>あらゆる部門において、人と人との結びつき、心と心のつながりが何より大事だと思う。</p>	追加意見
10	「重点化すべき取り組み」について	<p>(伊東委員)</p> <p>安心して妊娠・出産・子育てができる環境をつくるのが、互いに助け合う人々を生み出し、また、枚方市で子どもを産み育てたいと思う人を呼び込むことにつながると思う。</p>	追加意見
11	「重点化すべき取り組み」について	<p>(富岡委員)</p> <p>将来のまちづくりの担い手は子どもたちであるため、「子育て」「教育」の取り組みは重要と考える。高齢者がますます増えてくる時代となるが、子どもたちとの交流により元気になることもある。子どもが核となって、周りの人も関心を持ち、助け合いの気持ちを醸成していくことにもなると思う。</p>	追加意見
12	「重点化すべき取り組み」について	<p>(高井委員)</p> <p>枚方市は医療体制が整っており、子育てしやすいまちという印象があり、その長所をのばしていくべきだと思う。また、そうした施策が市民に十分に伝わっていないように感じるため、より効果的に情報発信することが重要だと思う。</p>	追加意見
13	「重点化すべき取り組み」について	<p>(本田委員)</p> <p>枚方市の特徴であるベッドタウンということを前提として考えると、やはり子育て世帯が住みたいと思えるまち、子育てがしやすいまちにすることが必要である。また、高齢社会への対応として、高齢者施策も重要である。</p> <p>就労、雇用面では、枚方で働きたいと思えるような環境整備も重要な取り組みだと考える。</p>	追加意見

No.	部門	委員によるご意見	
14	「重点化すべき取り組み」について	(後閑委員) 健康づくりに関する施策は重要だと考えており、病気になる前の取り組みが大切で、特に働き盛りの壮年期世代の健康増進が必要である。その視点は基本構想にも抜け落ちていると思うので、整理が必要だと思う。 そのほか、防災・防犯など、広く「安全」対策は重要だと思う。	追加意見
15	「重点化すべき取り組み」について	(岡田委員) 市民が健康に暮らしていくことは非常に重要だと思う。農協においても、「JA健康寿命100歳プロジェクト」として、100歳まで農作業ができるよう心と体の健康づくりのため、「食事」「運動」「健診・介護・医療」を中心にゆとりと生きがいのある暮らしに取り組んでいる。	追加意見
16	「重点化すべき取り組み」について	(三輪信哉委員) 人口減少が進む中、人を呼び込むような魅力あるまちにしていくためには、自然環境やまち並みの景観など、中心市街地を含めた市域の美しい環境が整うまちづくりが必要だと思う。	追加意見
17	「重点化すべき取り組み」について	(橋本委員) 今後、人と人とのつながりがますます重要となる中で、一人ひとりの人権意識の向上が必要だと思う。また、防災、教育、健康、環境、就労などの部門も重点化していくべきだと思う。	追加意見
18	「重点化すべき取り組み」について	(北川委員) 枚方市は、住むまち、暮らすまちという感じがするので、それを念頭に置いた施策を進めていくべきだと思う。そうなれば、防災や医療など様々な部門が関係してくることになる。	追加意見
19	「重点化すべき取り組み」について	(榮野委員) 重点化すべき取り組みについては、現行の総合計画やこれまで進めてきた市の強みを生かした施策展開も踏まえながら、検討していくべきだと思う。	追加意見
20	「重点化すべき取り組み」について	(三輪敦子委員) 現在、枚方市が持っている強みを伸ばしていく観点で、重点的に取り組む施策を検討していく必要がある。 特に、安心して子どもを産める環境を発信していけば、枚方に来て出産する人も増えてくるのではないかと。	追加意見
21	「重点化すべき取り組み」について	(谷本委員) 現在進めている幹線道路などのインフラ整備を計画的に進め、住環境を充実させることが重要だと思う。また、少子高齢化が進む中、子育てに対する取り組みや、買い物支援などによる高齢者支援が重要になってくると思う。 また、医療や大学などは枚方市の強みであると思うので、そのネットワークを生かした取り組みを進めていくべきだと思う。	追加意見

No.	部門	委員によるご意見	
22	「重点化すべき取り組み」について	<p>(榮野委員)</p> <p>これまでの議論から、重点化すべき大きな方向性として、1番目に「市民参加」があげられると思う。「市民参加」は効果的かつ効率的な市政運営につながり、結果的に持続可能性を高めることになる。宣言的に「市民参加」を打ち出していったらどうか。</p> <p>また、教育、文化、医療は枚方市の強みだと思うので、これらの点を意識した打ち出しがあっても良いと思う。</p>	第4回 2部会
23	「重点化すべき取り組み」について	<p>(後閑副部会長)</p> <p>市民参加については、多様な世代から、かつ、教育現場や家庭など様々な組織から参加できる仕組みが必要である。</p>	第4回 2部会
24	「重点化すべき取り組み」について	<p>(伊東委員)</p> <p>行政がNPOなどの組織に任せたりして、業務を手放していくように変えていくことが必要である。</p>	第4回 2部会
25	「重点化すべき取り組み」について	<p>(吉川部会長)</p> <p>従来の「市民参加」は、行政業務に参加してもらおうというニュアンスであったが、これからは行政と市民の協働、両者のコラボレーションが求められている。今後の枚方市の都市経営を考えると、コストを下げる効率化だけでなく、効果をあげていかななくてはならない。そのためには行政と市民のコラボレーションが必要になってくる。</p> <p>また、枚方の地域性が生かされないと意味がないと思う。文化や歴史、教育といった部分を生かしていく必要があると思う。</p>	第4回 2部会
26	「重点化すべき取り組み」について	<p>(嶋田委員)</p> <p>「市民参加」を重点化していくことは賛成であり、この長期の総合計画のもとで育ったこれからの世代がまちづくりに参加することで、枚方市に愛着を持ってくれば、市外への人口流出を抑制することにもつながる。教育や文化を通じて、子どもからお年寄りまでをつなげていくことができたらいのではないか。</p>	第4回 2部会
27	「重点化すべき取り組み」について	<p>(後閑副部会長)</p> <p>枚方市は医療についてかなり充実しているので、保健、健康、医療なども重点化の項目として積極的に打ち出しても良いと思う。</p>	第4回 2部会
28	「重点化すべき取り組み」について	<p>(伊東委員)</p> <p>予防医療を積極的に行っていくことによって、健康寿命を伸ばし、医療費を削減すべきである。そうすることで、その削減分の予算を別の施策に活用したり、あるいは市民税など税金を安くする。そういったアイデアが市民のワークショップで出されていた。予防医療を重点化として打ち出していくのもよいと思う。</p>	第4回 2部会

No.	部門	委員によるご意見	
29	「重点化すべき取り組み」について	<p>(吉川部会長)</p> <p>重点化すべき取り組みの検討にあたっては、あるゆる部門や多様な世代に対して関係のある骨太の項目であるべきで、今後、部門ごとに施策を進めていく際にもその重点化すべき項目を念頭において取り組んでいくことが必要である。</p>	第4回 2部会
30	「重点化すべき取り組み」について	<p>(谷本委員)</p> <p>枚方市は様々なことに取り組んでおり、中には特徴的なものもあるので、シティプロモーションを効率的かつ効果的に進めていくべきではないか。そうすることで、市外の人に対し枚方市に興味を持ってもらうことにつながり、市民にとっては市に愛着を持ってもらうことにつながる。結果として、枚方市に人を惹きつけることにもなるのではないか。</p>	第4回 2部会
31	「重点化すべき取り組み」について	<p>(加藤委員)</p> <p>市議会から、「交通政策の充実」について意見があったが、この意見にはおそらく2つの意味があり、高速道路へのアクセスの利便性などを活用して、企業の誘致、産業育成、雇用創出につなげるという視点。もう1つが、交通弱者を想定したような都心部と周辺部との公共交通体系の充実という視点だと思う。人口減少社会において、重要な視点であるので、どこかに入れてもいいと思うし、今後、具体的に議論すべき項目だと思う。</p>	第6回 審議会